

令和2年4月10日

保護者様各位

NPO法人ドラキヤリ
理事長 天野 朝之
あんしんキッズ保育園
園長 杉山 正彦

“愛知県緊急事態宣言”における登園自粛強化について

本日、大村愛知県知事より「緊急事態宣言」が発令されました。

それを受けて県民・各業界業種への要請内容も発表されるところです。県の意向としては、保育園は休園でなく“自粛要請”ですが、行政に問い合わせたところ「最終の裁量は園判断」とされました。当園では様々な情勢・保護者、職員の環境、何よりお子さんへの感染リスクを鑑み、「登園自粛強化」という形で、下記の通り、新型コロナウイルスへの終息に向けた対応をしております。また、登園での感染リスクもご考慮下さい。

登園自粛要請強化開始期間 2020/4/13(月)～

(期限は設けず、情勢・行政・愛知県の動きを観て変化があればお知らせいたします。)

- ・(現行要請) ①妊産婦のご家庭②新生児のいる保護者(概ね3か月未満)③片親が仕事をしていない(求職)
- ・(追加定義) ①医療従事者②福祉施設者等ライフライン公共職③片親世帯を優先受入れ
- ・(追加要請) ①片親が仕事をしていない(育休)②公共交通機関での登園をされているご家庭(保護者並びに小さいお子さんの電車内感染リスクの観点より)
- ・(時間短縮) ①できる限り、最大15:30まででお願いします。
- ・(減免措置) 月極保育のご家庭は、園独自の算出方法での保育減免措置をとります。
- ・(情報共有) 定期的に新型コロナウイルス含む園状況を発信致します。

乳幼児層は現在罹患率が低いものの、今まで大人の行動パターンと異なり移りにくくなっていただけで、「移らないことはありません」寧ろ検査数が増え、医療判断の意識変容で、少しずつ数字としても出てきています。また、医療従事者・福祉施設者についてコロナ疲弊が高い職業は”学童指導員と保育士”。今後も笑顔で職員が保育し続けることを考えますと、保育も“3密”にならないレベルの状況が望ましいと思われます。様々な業種・企業で勤務する保護者様対応、且つ多くの乳児さんの突発的な動き、よだれ、オムツ替え、咳鼻水を被るなど新型コロナウイルス以外の感染症も含め、保育士自身も常に感染リスクが高い状況に晒されております。「発生してからでは遅い」いつも以上に感染対策徹底を1ヵ月半以上行う中での「職員の疲弊感」を少しでもご考慮頂けたら幸いです。

※減免措置要綱に関しましては、後日ご案内いたします。(4月登園日数により、大きく変わらないこともありますので、予めご了承ください。)

※ご不明な点、ご相談がございましたら、電話またはコドモンでご連絡ください。

何卒、宜しくお願い致します。